
眠ル月

柚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

眠ル月

【Nコード】

N2886A

【作者名】

袖

【あらすじ】

父に連れられて来た病院の一室。そこには一人の女の子が眠っていた。目覚めることのない彼女に恋をした男の物語。

(前書き)

書いていてだんだん自分自身、窮地に立たされたような状態でした。いっぱいいっぱいです。楽しんでいただけるとは幸い입니다。

よく『初恋は実らない』と言う。

イチジヨウ
一条 奏芽 17歳。

俺はきつと世界で一番報われない恋をしているだろう。

奏芽が初めて”彼女”を見たのは12歳の時だった。

当時、小学校六年生。

決してマセガキではなかったと思う。

何故か奏芽は父に連れられ、病院へと行った。

父に一つの病室を案内され中へ入ると、そこには一人の女の子が眠っていた。

その女の子が、”彼女”だった。

まるで陶器のように白く、なめらかな肌。

うっすらと朱色の頬と唇。

うっすらと目元に影を付けるほどに睫毛が長い。

そして烏色の黒髪は無造作に胸元に流れている、その光景が無機質
なこの部屋の白さに映えて見えた。

思わず、奏芽は言葉を失う。心臓は煩いくらいに鼓動を刻み、少し
息がアガる。瞬きもせず彼女を見つめた。

まるで人形のように美しい彼女。

その日、奏芽は『恋』をした。

眠る姿に一目惚れし、奏芽は毎日病院へと通う。

いつか彼女が目覚めたときに、最初に己の姿を映したいと・・・
12歳ながらに思ったのだ。

毎日眠り続ける彼女のことを、様子を診に来た医者に聞いてみると、
彼女が眠りに就いて約11年経つらしい。

驚いた。

彼女の見た目は16歳〜18歳くらい。医者に聞いたことによると、彼女が眠りに就いたのは16歳の時だという。

そうになると、彼女の年齢は27歳ということになる。

「・・・11年も眠っているのに何である人は何も変わらないの？」

ある日、奏芽は父に聞いた。今まで疑問に思っていたことを。すると彼の父はこう答えた。

「『SPECIMEN』という病気にかかっているんだ・・・その病気は老いもせず、痩せも太りもせず、眠る前のままの姿ですっと眠り続ける病気なんだよ・・・何時、目覚めるかはわからないし、何故この病気にかかるのかもわからない・・・」

時代の流れにも乗らず、ただ眠り続ける美しい彼女は・・・まさに病名の如く『標本』のようだった。

彼女を置いて周りほとんど老いてゆく。
奏芽は17歳、父は45歳になっていた。

奏芽も高校二年になり、それなりに遊び騒いだ。彼女をつくるも、未だ眠り続ける”彼女”が気になりすぐに別れる・・・そんなことを繰り返していた。

「・・・今日も月が綺麗だな・・・」

彼女の病室の窓から覗く満月は、優しく綺麗な光を注ぐ。
変わらず眠り続ける彼女を月はより一層美しく見せた。
青く浮かぶ姿。

月明かりに照らされたその一つの病室は、別の空間のような違和感を持たせ、現実世界から非現実世界へと思わせた。

二人だけの世界 。

奏芽が彼女に恋をしてからもう五年の月日が流れていた。

彼女はまだ目覚めない。

よく『初恋は実らない』と言う。

一条 奏芽、17歳。

彼もその一人といえた。

彼が恋した”彼女”。
それは奏芽の実の母だった。

”彼女”が奏芽を生んだのは16歳の頃。
当時。

学生であった彼女は、27歳の教師と恋をした。
その教師とは奏芽の父である。

奏芽を生んだ後・・・産後の状態が思わしくなく、入院を余儀なくされた彼女は、月の綺麗な日に眠りに就いたまま、目覚めなかった。

何が悪い、といったことはまったくなく、原因もわからぬまま時は過ぎた。

父は男手一つで奏芽を育てあげた。
その姿を一目でも妻に見せようと、病院へと連れていったのだった。
それが奏芽12歳の頃だ。

歯車はここで歪みを生んだ。

日々、肌の白さに磨きをかけゆく”彼女”に、未だ恋心を募らせる
奏芽。

まだ彼は『真実』を知らない
。

眠り続ける彼女が一人、月明かりに照らされて。
『真実』すべてを包み込み、隠したままに・・・眠りゆく。

彼女は未だ目覚めることを知らない。

END

(後書き)

何じゃこりゃ (;) !! . . . 思わず叫んだ方、正解です

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2886a/>

眠ル月

2010年12月19日00時21分発行